

平成22年度東海地区国立大学法人等職員基礎研修報告

技術室 機械系班 桶田真司

1. はじめに

平成22年5月20日、21日に名古屋大学にて勤務経験が半年以上2年未満の職員を対象とした基礎研修が行われ、参加しましたので報告いたします。

2. 研修内容

- ・環境の変化と我々に期待される役割
- ・ビジネスコミュニケーション
- ・効率的な仕事の進め方
- ・チームワークの重要性とコミュニケーション
- ・仕事を通じての自己成長
- ・今後の自己啓発

3. 所感

今回の基礎研修では中途採用の職員が比較的多く参加しておりました。そのため、研修内容もビジネスコミュニケーションは簡単に説明するのみにとどめ、効率的な仕事の進め方やPBIという自己分析によって得られた現在の診断結果について十分に議論・検討するために時間を費やすなどの配慮がされておりました。

自分にとっても「効率的な仕事の進め方」については参考にすべき点は多くありました。例として、モチベーションの上がる目標設定内容や短期的に実現できそうな内容であることが重要であることや、PDCAマネジメントサイクルではDoを計画通りに実行しなければ後のCheckができないので注意する事がありました。また、日々の業務の中で重要度は高いが急ぎでない仕事を計画的に処理していかなければ毎日が仕事に追われる日々になり疲弊してしまうなど、自分の業務を振り返り反省する面もありました。

PBI分析は今回2回目でしたが、前回の結果と比較して大きくは変わっていませんでしたが、グループのメンバーからの分析結果が自分の分析結果とあまり変わらなかったことから、ジョハリの窓という公開の窓が大きくなり自己開示が以前に比べて進んできたことが分かりました。

研修全体を通して、他機関の職員の方々と交流が持てたことは非常に有意義な経験となりました。